

# 西なぎさ発： 東京里海エイド（ラムサール条約に登録された葛西 干潟における漂着ごみ収集を中心とした保全活動）

活動地域  東京都

LOVE BLUE助成

2年目

実践

参加人数 **390人**

収集漂着ごみ **148袋**

今年度計画の達成度 **95%**

全体計画の達成度 **95%**



6月18日のビーチクリーン活動実施の様子

## 苦勞した点と工夫した点

### ■苦勞した点

新型コロナウイルス禍中であったため、前半はなかなか参加者動員に苦勞した。11月は主催者側で濃厚接触者が出たことから、活動中止を余儀なくされてしまった。

### ■工夫した点

リピーター参加者が多く、大変協力的であるため、また他のリピーター参加者を増加させる目的で、「東京里海パスポート」を発行した。

## 課題

葛西海浜公園／西なぎさはラムサール条約の登録湿地となったが、河川から漂着するごみはいまだに絶えない状況で、特に夏季は大型のごみも漂着するような状況。

## 目標

漂着ごみの多い3月～11月にかけて毎月定期的にビーチクリーンを市民活動として実施し、少しでも漂着ごみを減らしていき、都心の干潟における生物多様性を保全する。

## 活動内容と成果

### 【2022年度実績】

- 活動実施回数：10回
- 参加者人数：390人
- 参加企業数：12社
- 漂着ごみの収集量：45リットルゴミ袋×148袋
- 収集した粗大ごみ：159個体
- 収集した危険ごみ：131個
- 行政&NPO団体等交流：4回



東京里海パスポートの発行

## 全助成期間の活動を振り返って

新型コロナウイルス禍の影響はあったが、全助成期間を通じて目標の参加者動員数を達成することができた。2021年度は東京2020大会応援プログラム認定の活動となった点で、2022年度は「東京里海パスポート」制度を導入した点で、より市民に関心と親しみのある活動となった。特にリピーター参加者が増加した点は大きな成果である。一方、漂着ごみ数は依然変わらないため、今後もステークホルダーを拡大していく必要がある。



7月30日に収集した漂着ごみの量

〒134-0086  
東京都江戸川区臨海町5-3-2-302 アリーナコースト参番街  
電話：03-5878-1173  
E-mail：hashikei@dexte-k.com  
HP：https://dexte-k.jp/



## 今後の展望

2023年度以降の活動の展開として、ステークホルダーの拡大と関連NPO団体との連携に注力する。特にフィールド活動は、大学生ボランティアサークルとの連携を深めていく。一方、オフフィールド活動としては、全国で活躍する水辺の漂着ごみクリーンアップ活動を行っているNPO団体と少しでも多く交流を行う展開とする。

